

口蹄疫対策について ー御礼とお願いー

高知大学農学部長
川合 研兒
附属暖地フィールドサイエンス
教育研究センター長
尾形 凡生

8月27日に、宮崎県における口蹄疫の終息宣言が出されました。

これにともない、本年5月以降、本学農学部附属暖地フィールドサイエンス教育研究センターでとっておりました厳戒態勢を、通常の警戒態勢に戻すことといたします。

厳戒態勢の期間中は、皆様には何かとご不便を強いることとなりましたことをお詫びいたしますとともに、皆様のご協力に対し厚く御礼申し上げます。

なお、今回の宮崎県での口蹄疫感染は、いまだに侵入経路が明らかになっておらず、また、国外では本病が断続的に発生している状態ですので、国内のどこかで再び発生する可能性があるという状況は今なお変わりません。つきましては、物部キャンパスのうち本センターの放牧場及び畜舎については、下記のとおり警戒を継続して行いますので、今後とも皆様のご理解とご協力を賜わりたくお願い申し上げます。

暖地フィールドサイエンス教育研究センターにおける今後の具体的対策
(別図参照)

- ・9月27日まで、センター内への車両と人の進入を、関係者を含めて厳重に制限します。また、進入経路での石灰による消毒を継続します。
- ・家畜飼養関係者以外の畜舎・放牧場への立入りは、今後も原則禁止とします。
- ・畜産関連の学生実習・一般見学は、必ず本学の家畜飼養関係者の管理下で、その指示にしたがって行うものとします。
- ・海外からの見学者受け入れは、その国の家畜伝染病の発生状況を確認した上で対応します。
- ・不特定多数が来学する農学部のイベント（オープンキャンパス、大学一日公開など）では、原則的にセンター内への車両での進入及び人の立ち入りを禁止します。

以上。

物部キャンパス内の立ち入り制限区域

(9月27日までは、赤点線で囲んだ区域について、センター関係者外立ち入り禁止とする。
9月27日以降、下図の通りに実施する。)

■■■■■■■■■■
家畜飼養関係者以外の立ち
入りを継続して禁止する区域

■■■■■■■■■■
不特定多数が来学するイベ
ント等で、学外者の立ち入り
を禁止する区域

